



警察署の方へインタビュー

一人一人が防犯意識を持った行動を

平成17年以降、県全体の犯罪件数は減少を続けてきましたが、今年の9月から増加へと転じてしまいました。そのような中、行田市は減少を維持しており、数字上では、県内でも治安は安定しているといえます。しかし、本市の自転車盗、自動車盗、侵入窃盗は、近年増加傾向にあります。それは、本市が、**他市に比べて無施錠の割合が高い**からです。施錠をすることで、盗難リスクは確実に下がります。基本的なことですが、一人一人が防犯を意識して**施錠を徹底**するようお願いいたします。

犯罪者は特に「人の目」と「手間」を嫌います。侵入窃盗においては、外にセンサーライトを設置したり、窓に補助錠を付けたりすることで、防犯効果が高まりますので、ぜひ活用してください。また最近では、空き家での盗難が多発しています。近所の方は、怪しい行動をする不審人物などがいましたら、迷わず110番をしてください。皆さんの行動が被害の予防と犯人逮捕へつながります。



行田警察署生活安全課長
猪狩亮平さん

犯罪被害者支援について

誰もがある日突然、犯罪被害者やその家族になる恐れがあります。市民の皆さんが安心して暮らせる社会を実現するために、市や県、警察などでは、犯罪予防だけでなく、犯罪被害者に対する支援を行っています。

市役所ワンストップ窓口

犯罪被害者の精神的および物理的な負担を軽減するため、市役所内の手続きを地域活動推進課が一括して受け付けます。事前に電話で訪問日時、対応希望内容の連絡をした場合、市役所内の個室で手続きを行うことも可能です。内容に応じて担当が変わる可能性があります。依頼内容は引き継がれるため、そのたびに事情を説明する必要はありません。

▶問い合わせ 同課くらし安心グループ(内線252)

彩の国犯罪被害者ワンストップ支援センター

彩の国犯罪被害者ワンストップ支援センターとは、県、県警察、民間支援団体の3者がワンフロアで支援を行っている施設です。犯罪被害に遭って、お困りの方やその家族の話を聞き、支援内容により県、県警察、民間支援団体へワンストップでつなぎ、犯罪による被害の軽減と早期回復を図ります。

▶場所 さいたま市南区沼影1-10-1ラムザタワー3階(武蔵浦和合同庁舎)

▶総合対応電話 0120-735-001(平日午前8時30分～午後5時15分)

浮き城のまち安全・安心情報メール

市民の皆さんの生命や財産を脅かす事件が発生した場合、また不審者の目撃情報や還付金詐欺などの予兆電話があった場合に、行田警察署からの情報をもとにメールを配信しています。防犯のためにぜひご登録ください。登録方法などの詳細は、市ホームページをご確認ください。



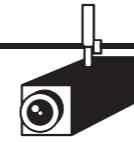
自主防犯活動を応援します

本市では、168団体、約3,200人の方が自主防犯活動に取り組んでいます。

「私も地域でパトロール活動したい」と思われた方は、地域活動推進課へご相談ください。統一意匠のパトロール用品の支給や活動に関する講座の情報提供を行うなど、皆さんの活動を支援します。



▶問い合わせ 同課くらし安心グループ(内線252)



私たちができる防犯対策

侵入窃盗(空き巣・忍び込み)への対策

☑ 戸締りを徹底

ごみ出しや買い物など、短時間の外出でも必ず施錠をしましょう。2階の窓や格子のある浴室・トイレの窓の施錠も忘れずに。在宅中も侵入されるケースがあるため、在宅中も施錠をするようにしましょう。

☑ 防犯用品の活用

犯人は、「光・人の目・音・手間」を嫌うため、センサーライト・防犯カメラ・防犯砂利・補助錠の設置が防犯効果を高めます。これらのものはホームセンターなどの身近な店で購入できます。

☑ 「地域の目」で守る

普段からあいさつ、声掛けを励行するなど、近所付き合いを大事にしましょう。



自転車盗への対策

☑ 鍵を必ずかける・ロックは2つ以上に

短時間離れる場合や自宅敷地内でも必ず鍵をかけましょう。またワイヤー錠など2つ以上の鍵で施錠された自転車は狙われにくくなるため、鍵は2つ以上かけましょう。

☑ 防犯登録をする

盗難され乗り捨てられた場合などの早期発見・返還に役立つため、必ず防犯登録をしましょう。



車上ねらい・自動車盗への対策

☑ 車内に荷物を置いたままにしない

貴重品などを車内の見えるところに置かないようにしましょう。

☑ 車から離れるときは必ずドアロックをする

短時間でも車から離れるときは必ずドアロックをしましょう。

☑ タイヤロック・ハンドルロック・警報装置の活用

タイヤロックやハンドルロックを使い、物理的に乗り出しを防ぐ対策や衝撃を感知したときに警報音が鳴る警報装置などを活用しましょう。



青色防犯パトロール

市では、4台の青色回転灯付きパトロールカーを配備し、犯罪抑止のため、市職員や地域防犯推進委員が市内巡回パトロールを実施しています。

地域防犯推進委員は、青色のベストを着用し、「地域の安全は地域で守る」という意識のもと、青パトで市内各地区の巡回パトロールを行っています。その他にも振り込め詐欺防止のキャンペーンや登下校する子供たちの見守りなど地域の安全を守るため、さまざまな防犯活動に取り組んでいます。



行田市地域安全推進連絡協議会
会長 中村恵治さん

▶問い合わせ 地域活動推進課(内線252)

行田の安全を守っています!

